

農相、仙台と塩釜訪問

地盤かさ上げ

「迅速に対応」

農漁業者と意見交換

鹿野道彦農相は17日、仙台、塩釜両市で、東日本大震災で被災した農業者や漁業関係者とそれぞれ意見交換した。地盤沈下した漁港周辺のかさ上げをめぐる、鹿野氏は「国土交通省とも連携を強め、できる限り迅速に実施したい」と述べた。

宮城県漁協塩釜総合支所の会場には漁業者ら約100人が出席。深刻な地盤沈下に対する要望が続出し「毎日波をかぶっている。何年も待てない」「省庁の枠を超えた一体的な対応を進めてほしい」などの意見が出た。

鹿野氏は「かさ上げは国が最後までしっかり取り組む」と強調。福島第1原発事故に伴う水産業への影響にも言及し、放

「来年選挙ある」

仙台で小沢氏

民主党の小沢一郎元代表は17日、仙台市青葉区であった石山敬貴衆院議員（宮城4区）の会合に出席した。石山氏によると、小沢氏は次期衆院選について「今までの経験から言つと、来年選挙が

放射性物質の検査体制や消費者への情報提供を強化する考えを示した。

農業者との意見交換は仙台農協本店で開かれ、市東部の農業者ら10人が参加。農家が加工や販売を手掛ける6次産業化、農地の大規模化への要望や意見があったという。

鹿野氏は2カ所での意見交換終了後、記者団に対し「復旧、復興に向けて、関係者の連携が最も大切。一体となった取り組みが迅速な復旧を実現する」と述べた。

あると述べ、選挙態勢の準備を急ぐよう促した。

2009年衆院選で掲げたマニフェスト（政権公約）にも触れ「有権者との約束をきちんと守ることが国民との信頼関係を築くことだが、今の民主党はその姿勢が希薄ではないか」と党執行部を批判した。

得者に限定するとはいえず、党内からは公約に逆行するとの声上がる可
能性が高い。

一体改革では低所得者の年金を加算し介護保険料を軽減する一方で、公的年金が本来より多く支給されている「特例水準」の解消も行われ、負担が増える部分もある。

八ツ場ダム建設再開 「政権公約転換 国民の信問え」

自民・大島氏

大島理森自民党副総裁は17日、政府が八ツ場ダム（群馬県）の建設を再開する方向で最終調整に入ったことに対し「（2009年衆院選で建設中止を政権公約に掲げた）民主党の生命線の政策転換になる。国民に信を問うべきだ」と述べ、早期の衆院解散を迫る考えを示した。



漁業関係者との意見交換会であいさつする鹿野

農相17日、塩釜市の宮城県漁協塩釜総合支所